

平成20年度 平取ダム工程コスト検討委員会の  
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言を頂くため「平取ダム工程コスト検討委員会」を下記のとおり開催しました。

1. 日 時 : 平成20年9月10日(水)15:30～17:00
2. 場 所 : 二風谷ダム管理所2F会議室
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授  
◎藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授  
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員  
◎委員長(※50音順)

4. 審議結果

○審議内容

(1) 沙流川総合開発事業の概要

事業の概要、経緯、沙流川水系河川整備計画の変更、ダム容量の再編、工程等

(2) 平取ダム事業進捗状況

年度別工事実施内容、予算の執行状況、H20年度実施内容等

(3) コスト縮減対策

堤体設計、地すべり対策工、付替道路等におけるコスト縮減対策

○委員からの主な意見

- ・建設発生土を地すべり対策工等へ使用する際には、具体的な使用計画を検討したうえで、最も経済的となるよう実施すべきである。
- ・コスト縮減額を算出する際の経済比較の根拠として、既設ダムの実績額を活用することも有効である。
- ・企業の努力を促すような施策(契約方法、技術提案など)の活用も効果的である。
- ・事務機器、機械類、車輛など、使用計画を立てたうえで、レンタルやリースを活用する検討も必要である。
- ・今後も、コスト縮減のアイデアを引き出す仕組み作りを継続し、事業間での情報共有に努める。